

No.

第三国集団研修第1次、第2次事前調査団報告書

— ガーナ、ポリオ・ワクチン —

平成 3 年 12 月

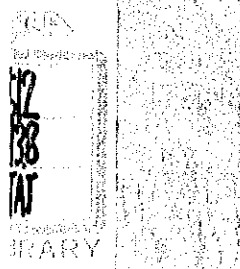
国際協力事業団
研修事業部

研 三
J R
91-723

第三国集団研修第1次、第2次事前調査団報告書「ガーナ、ポリオ・ワクチン」

平成3年12月

国際協力事業団



第三国集団研修第1次、第2次事前調査団報告書

— ガーナ、ポリオ・ワクチン —



平成3年12月

国際協力事業団
研修事業部

国際協力事業団

25379

序 文

第三国研修とは、社会的、文化的、言語的に共通の基盤をもつ一定の開発途上地域に研修実施国を選定し、そこに当該地域内の途上国からの研修員を受入れ、より現地事情に適した技術・知識の移転を図り、これにより開発途上国間協力の推進に寄与し、将来的には、実施国が独自に研修員受入れ事業を実施できるよう協力することを目的としている。我が国は、昭和49年度、タイのコーラート養蚕研究訓練センターで最初の第三国研修を実施したが、以来開発途上国からの第三国研修実施協力要請は、年々増え続け、平成3年度には、21ヶ国で、49コースの集団研修を実施するに至っている。

本件第三国研修については、平成2年4月わが国とWHOとの第一回定期協議の場で、WHOとのマルチ・バイ協力案件として提起された経緯があるが、その後、平成3年2月に、ガーナ国政府より、従来から協力してきた野口記念医学研究所プロジェクトにおいてポリオ・ワクチン分野での第三国研修を実施したい旨の要請があった。

我が国は、上記要請を受け、本件第三国研修の実施可能性及びガーナ側の実施体制を調査し、合わせて我が国と、WHOとの役割分担すなわち、マルチ・バイ協力の具体的なあり方を整理するため、平成3年7月19日から同年同月27日まで第1次事前調査チームを派遣した。その後、本第三国研修がアフリカ地域で行なわれる最初の国際機関とのマルチ・バイ案件であるに鑑み、野口記念医学研究所プロジェクトとの調整を図り、本第三国研修の実施面の細部について、WHO及びガーナ側関係者と協議するため、平成3年9月23日から同年10月4日まで第2次事前調査チームを派遣した。

本報告書は、第1次及び第2次事前調査チームの調査結果及び協議内容を取りまとめたものである。又、本年度実施との関係から、R/Dはガーナ事務所長が署名しており、同R/D写しも本報告書に掲載することとした。

本報告書が、関係各位のさらに深いご理解のもとに、本第三国研修のより良い今後の展開に資することが出来れば幸いである。

最後に、本調査団の派遣に際し、ご協力を賜った外務省、厚生省、在ガーナ日本国大使館、在ジュネーブ国際機関日本政府代表部に対し、深甚なる謝意を表する次第である。

平成3年12月

研修事業部長

諏 訪 龍

目 次

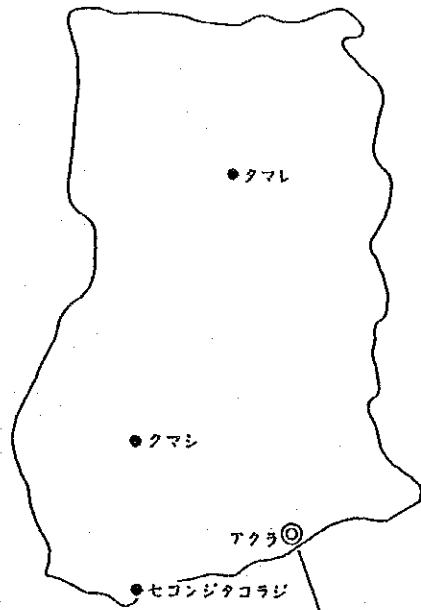
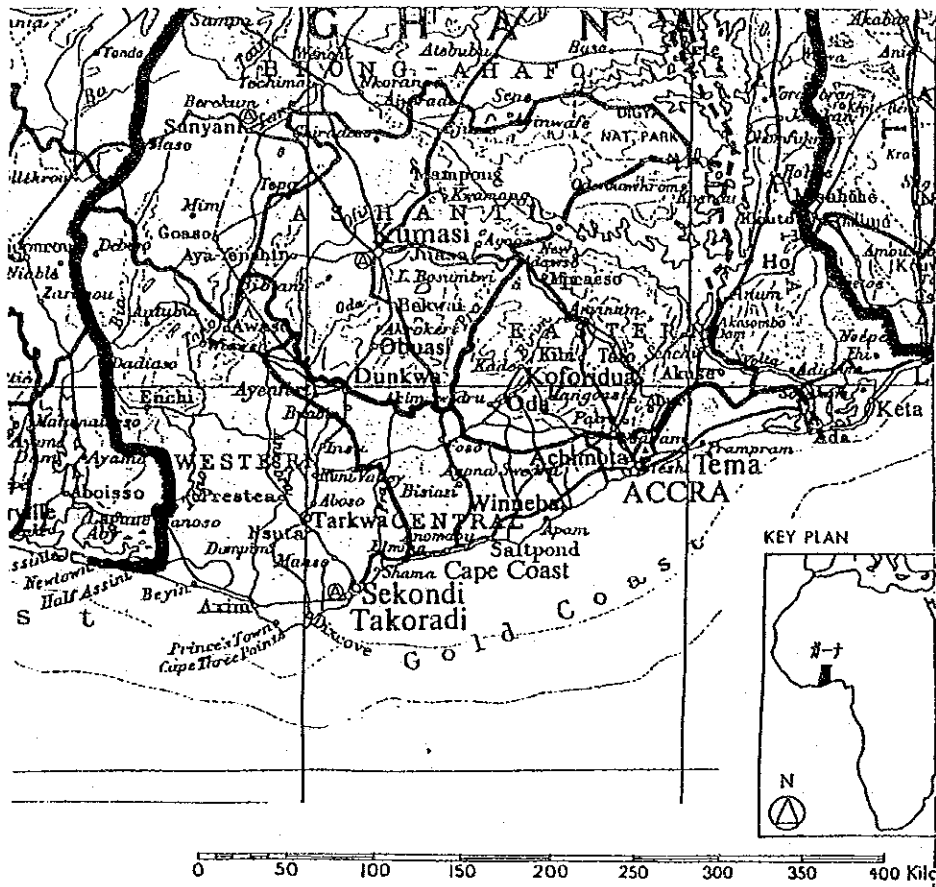
序 文

1. 第1次事前調査団の派遣	1
1.1 経緯及び目的	1
1.2 調査団の構成	1
1.3 調査日程	1
1.4 主要面談者	2
1.5 調査結果の概要	3
1.6 所 感	6
2. 第2次事前調査チームの派遣	7
2.1 目 的	7
2.2 調査団の構成	7
2.3 調査日程	7
2.4 主要面談者	8
2.5 第2次事前調査団の主な調査項目	8
2.6 第2次事前調査結果及び成果	9
2.7 所 感	11

付属資料

1. 第1次事前調査団署名の Minutes of Meeting.
2. Record of Discussious.
3. WHO EPI 会計担当官及び研修第三課長との間の書簡の写し
4. 本第三国研修 General Information.

調査対象プロジェクト位置図



■ガーナ大学医学部基礎医学研究所
(野口記念医学研究所)

1. 第1次事前調査団の派遣

1. 第1次事前調査団の派遣

1.1 経緯及び目的

本件第三国研修については、平成2年4月に行われた我が国とWHOとの第一回定期協議（日本側団長、飯村外務省技術協力課長）の場において、WHOとのマルチ・バイ協力案件として前向きに検討すべき旨の合意が形成された経緯がある。

本件事前調査の目的は、右合意及びガーナ政府からの我が国に対する正式要請を踏まえ、本件第三国研修実施の適否及び可能性を見極めるとともに、実施可能と判断される場合には、関係者に第三国研修スキームを十分理解せしめた上で、第一に本件研修の効率的な実施のための枠組みを当事者間でR/D（案）として取りまとめ、第二に我が国とWHOとの役割分担、即ちマルチ・バイ協力の具体的なあり方につき整理することである（なお、本件事前調査に際しては、WHO本部よりDr. Kobayakawaがガーナに来訪越し、日・WHO合同調査の形となった。）。

1.2 調査団構成

団長・総括 田村良作 外務省経済協力局技術協力課
企画・調整 近藤芳久 JICA研修事業部研修三課

1.3 調査日程

7月19日（金） 成田発 — パリ着（AF275）
20日（土） パリ発 — チューリヒ着（SR701）
チューリヒ発 — アクラ着（SR256）
（ジュネーブ・アビジャン経由）

チューリヒにて田村団長合流、また、ジュネーブにてDr. Kobayakawa と合流した。

○ 堀リーダー、吉井専門家及び江口調整員の出迎えを受け、調査の対応方針について打合せを行った。

21日（日） 野口研の研究施設を視察した。

22日（月） 野口研にてエンクルマ所長を表敬し、直ちに打ち合せを行った。

○ 協議内容：

- 1) 第三国研修の基本方針について
- 2) R/Dの内容について

○ 出席者：

1) ガーナ側

- ① Prof. F. K. Nkrumah Director, Noguchi Memorial Institute of

Medical Research (NMIMR)

- ② Mr. J. B. Nchor Administrative Secretary NMIMR
- ③ Mr. J. A. M. Brandful Principal Research Assistant Virology Div.,
NMIMR

2) 日本側 :

- ① 田村団長
- ② 近藤団員
- ③ 堀専門家 (リーダー)
- ④ 吉井専門家
- ⑤ 江口調査員

3) WHO側 :

小早川担当職員

- WHOとの打ち合せ

7月23日(火) 野口研にて

- 昨日と同様にR/D素案の内容を協議し、別添R/D案の通り合意した。(出席者:前日と同様)
- 飯田大使、西村参事官に表敬し調査報告を行った。
- ガーナJICA事務所打合せ
- 小早川WHO職員と団員との打ち合せ

24日(水)

- Mr. Cann大蔵経済企画省国際関係局長を表敬
- 野口研にてミニッツの署名
- Dr. M. AlliガーナWHO事務所長表敬
- Dr. M. Adibo保健省医療サービス局長表敬

25日(木)

アクラ発 — チューリヒ着 (SR253)

26日(金) チューリヒ発 (SR166)

27日(土) — 成田着

1.4 主要面談者リスト

大蔵経済企画省 Ministry of Finance and Economic Planning

Mr. G. Cann Director, International Relations Division
Dr. A. Berko Assistant Director, International Relations Division

Mr. M. Badoo	International Relation Division
保健省 Ministry of Health	
Dr. M. Adibo	Director of Medical Services
外務省 Ministry of Foreign Affairs	
Mr. F. Tsegah	Deputy-Director, Economic Division
WHO World Health Organization	
Dr. T. Kobayakawa	EPI
Dr. M. Alli	WHO Representative in Ghana
ガーナ大学野口記念医学研究所 Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana	
Prof. F. K. Nkrumah	Director
Mr. J. B. Nchor	Administrative Secretary
Mr. J. A. M. Brandful	Principal Research Assistant, Virology
在ガーナ日本国大使館	
飯田 稔	閣下 大使
西村 舜治	参事官
浅見 幸好	書記官
ガーナJICA事務所	
長倉 孝	所長
大田 孝治	所員
ガーナ大学野口記念医学研究所プロジェクト	
堀 浩樹	チーム・リーダー
吉井 孝男	ウィルス学専門家
江口 秀夫	調整員

1.5 調査結果概要

1.5.1 ミニッツの署名

本件調査団は、WHOと合同で本件研修の実施機関に想定されているガーナ大学野口記念医学研究所（以下「野口研」。）の諸施設を視察するとともに野口研等ガーナ側関連機関と数次にわたる協議を行ったところ、アフリカにおけるポリオ（小児麻痺）関連技術普及の必要性、及び野口研がアフリカのポリオ関連研究において占める指導的地位などにかんがみ、本件第三国研修を野口研を拠点として実施することが適切かつ一応可能と判断されるに至った。

このため、7月23日、本件調査団はWHO側ともすりあわせの上、野口研エンクルマ所長

との間で本件第三国研修の枠組みを規定するR/D素案を作成し、右素案を別添として今後当事者間で効率的な実施に向け同素案を更にelaborateすべき旨のミニッツの署名を行った(署名済みミニッツ別紙参照。また、R/D素案特に研修目的、カリキュラム案の作成にあたっては、吉井・堀両JICA専門家の助言を得た。)

1.5.2 R/D (案) 骨子

WHO側ともすりあわせのうえ、ガーナ側と作成したR/D素案の骨子次のとおり。

(1) 当事者(署名者)

R/Dは基本的に日本及びガーナ両国間のバイの関係を規定する文書とし、従って署名もJICAガーナ事務所長とガーナ側代表(ガーナ大学副学長)との間で行う。ただし、本件研修はマルチ・バイ協力の側面を有していることに鑑み、R/D付属文書中に、WHOよりも講師派遣等が行われる予定であることを付記する。

(2) コース名

「ワクチン力価試験及びポリオ関連診断法」(略称「ポリオ関連技術」)。(但し、本件マルチ・バイ協力の実態に鑑み、周辺国への連絡等に際しては、右コース名の前に“JAPAN-WHO-GHANA Intercountry Workshop on~”を冠することとする。)

(3) 期間

本年度より5年間。毎年1回。約3週間実施。第一回目の研修は明年3月開催予定。

(4) 定員及び対象国

毎回12人を定員の上限とする。さらに、右12人のうち、周辺被招聘国研修員総数及びガーナよりの研修参加者数の上限を毎回各々10人、及び3人とする。

また、被招聘対象国は広くアフリカの45ヶ国とし、優先度の高い国より順次招聘することとする。

(5) 日本側負担経費

各回概ね4万米ドル弱を予定。

(6) 周辺被招聘国との連絡

通常の第三国研修通りガーナを中心とした外交ルートによることとし、ガーナ側の自助努力を期待することとするが、ガーナ側大使館が存在しない国も多いこと等に鑑み、ガーナ側は必要な場合にはJICAルート、WHOルートによる支援も求めうることを明記。

1.5.3 WHOとの関係(マルチ・バイ協力の形態)

(1) 本件については、WHOのDr. Kobaykawaと縷々協議を行った結果、日本とWHOは密接な連携を保ちつつも、それぞれのスキームでガーナ側と協力をを行い、全体としてみると野口研

を拠点として我が国とWHOとの間でマルチ・バイ協力が行われているとの形をとる方向で検討することとなった。

(2) 具体的には、我が国は、ウィルス（特にポリオ）の短期専門家2名の派遣を含む第三国研修スキームによる協力を検討することとなった。

(3) これに対し、WHO側は本件研修に関しWHO側の経費負担にて以下の協力を検討することとなった。

(イ) 講師2名の派遣

(ロ) WHOが開発した研修教材の提供

(ハ) ガーナにおいて調達不能な試薬・資材の提供

(ニ) 野口研内部講師に対する謝金の支払い◎

(ホ) ガーナ人研修員の日当・宿泊代の支払い◎

(ヘ) WHOルートを活用した周辺被招聘国との各種連絡（ガーナ側より依頼のある場合。）

(4) なお、上記(1)～(3)については、野口研エンクルマ所長及びWHOガーナ事務所長（Dr. Allii）も異存なく、特にAllii所長よりはWHOガーナ事務所としてもできる限りの支援を行う用意のある旨の発現があった。

◎ 右については、後に、WHO EPI会計官の書簡にて、WHOよりは支出不可能の旨、表明あり。

1.5.4 大蔵経済企画省等との協議

7月23日、本件調査団WHOのDr. Kobayakawaと共に大蔵経済企画省（技協窓口官庁。Cann国際関係局長。）、外務省（Tsegah経済課補佐）及び保健省（Adibo医療サービス局長）を訪問し、本件協力の概要、意義につき説明を行った。これに対し、先方よりはいずれも当方の協力の意向に謝意を表するとともに、必要な支援を行いたい旨表明越した。

1.5.5 今後の進め方

(1) カリキュラム、第1回研修参加国、第一回目の研修必要経費等につき、研修の関係者間でさらに詰めを行った上で、9月頃にもR/Dを署名することとなる（当方、署名者はJICAガーナ事務所長を予定）。

(2) 今次調査を通じ、講師（専門家）については、原則として我が国、WHO、ガーナにてそれぞれ2名ずつ手当する方向で検討を進めることとなったところ、今後、関係者間でそれぞれの講師がカリキュラムのどの部分を担当するか調整の要あり（なお、いずれにしろガーナ側より日本人専門家派遣に係るAIフォームを至急提出越すこととなった。）

1.6 所 感

(1) 野口研の研修実施能力等

野口研は、過去我が国が無償及び20年以上にもわたる技術協力を行ってきたこともあり、ポリオ関連研究においてはアフリカで設備、人材面とも最も充実した研究所の一つであることは間違いのない由であり、本件第三国研修の実施機関として望ましい条件の多くを備えていると思われる。但し、講師となりうる人材となると数が極めて限られていること、さらにはアフリカ特有の通信事情の悪さ、情報伝達ネット・ワークの不備、等を勘案すると、効率的な研修実施のためには従来の第三国研修に比しサブ、ロジ両面にわたって我が国又は、WHOより相当程度の挺入れを行う必要があると思われた。

(2) 日本・WHOマルチ・バイ協力案件としての意義

他方、本件が実施の運びとなると、我が国とWHOとのマルチ・バイ協力案件としては第三国研修関連では第1号となり、また、その他の技協スキームを含めても数少ない実施案件となる。昨年来、WHOとの間で定期協議を開始し、マルチ・バイ協力案件の推進を図っていることを勘案すれば、本件研修が成功裏に実施される場合にはかかる双方の努力が具体的に結実することとなり、この観点からも大きな意義があると思われる。

(3) 野口研に対するプロ協、無償協力等との関係

また、野口研はそもそも我が国の無償協力(約20億円)により設立され、我が国は右野口研に対し過去10年余りにわたってウイルス学等に関しプロジェクト方式技術協力を実施してきた経緯がある。これを鑑みると、本件第三国研修の成功はとりもなおさず、野口研に対する既存の我が国の協力の有効性を端的に実証することにもなると考えられる。この観点よりも、本件第三国研修実施の際にはスキームは異なるとはいえ野口研におけるプロ協とも調整を図りつつ相互補完的な事業運営に努めることが望ましいと思われる。

2. 第2次事前調査チームの派遣

2. 第2次事前調査チームの派遣

2.1 目的

7月末に派遣した第1次事前調査チームの調査結果を踏まえ、今年度内実施を前提に、野口研プロ技協案件との調整を図るとともに、ガーナ側及びWHOと実施面での細部について協議し、さらに実施態勢について詳細調査する。

2.2 団員構成 1名

総括/研修計画 吉田 丘 JICA研修事業部 研修第三課長代理

2.3 調査日程

平成3年9月23日(月)	12:15 成田発	AF 275	18:20 パリ着
24日(火)	14:15 パリ発	SR 725	15:15 ジュネーブ着
25日(水)	A. M.	WHOにて協議	
	13:50 ジュネーブ発	SR 252	19:40 アクラ着
26日(木)	A. M.	日本大使館表敬、JICA事務所打合せ	
	P. M.	野口研にて協議	
27日(金)	A. M.	JICA事務所打合せ	
	P. M.	野口研にて協議、ガーナWHOと協議	
28日(土)		野口研プロジェクト・実施協議チームとの打合せ	
29日(日)		資料整理	
30日(月)	A. M.	野口研にて協議	
	P. M.	JICA事務所打合せ及び報告、日本大使館報告	
10月 1日(火)	15:30 アクラ発	BA 078	0:30 ロンドン着
2日(水)	9:00 ロンドン発	BA 736	10:30 ジュネーブ発
		WHOにて協議	
3日(木)	10:05 ジュネーブ発	SR 925	11:00 チューリッヒ着
4日(金)	11:50 チューリッヒ	SR 168	7:45 成田着

2.4 主要面談者

ガーナ大学野口記念医学研究所 Noguchi Memorial Institute for Medical Research,
Universitu of Ghana

Prof. F. K. Nkrumah Director

Mr. J. B. Nchor Administrative Secretary

Mr. J. A. M. Brandful Principal Research Assistant, Virology

在ガーナ日本国大使館

飯田 稔 閣下 大使

西村 舜治 参事官

寺岡 隆 書記官

ガーナJICA事務所

平沢 昭男 所長

大田 孝治 所員

ガーナ大学野口記念医学研究所プロジェクト

堀 浩樹 チーム・リーダー

江口 秀夫 調整員

ガーナ大学野口記念医学研究所プロジェクト、実施協議チーム

長谷川 敏彦 総括

井上 栄 ウィルス学（第三国研修担当）

在ジュネーブ国際機関日本政府代表部

尾形 裕也 書記官

WHOジュネーブ（本部）

小早川 隆敏 WHO EPI 担当官

Mr. James Cheyne WHO EPI 会計担当官

Dr. Barbara Hull WHO EPI Virologist

WHOガーナ事務所

Dr. M. Alli WHO Representative in Ghana

2.5 第2次事前調査チームの主なT/R

- (1) 野口研プロ技協との連携強化に鑑み、同プロジェクト関係者と実施について調整を図る。
- (2) 初年度実施の割当国及び各々割当国からの参加人数について、WHO及びガーナ側と協議し、原案を作成する。
- (3) 本件第三国研修の経費積算及びその根拠等について、ガーナ側と詳細を打合わせる。

- (4) 先般WHOの支援により実施されたポリオ・ワークショップの実施態勢について、詳細調査し、WHOとガーナ側との協力態勢の促進を図る。
- (5) ガーナ国において、初めての第三国研修が実施されることから、ガーナ側での実施細目につき、JICAガーナ事務所に説明するとともに、在アクラ日本大使館及びWHOガーナ事務所に、再度協力依頼を行なう。

2.6 第2次事前調査結果及び成果

(1) 野口研プロジェクトとの連携

今般の第2次事前調査チームは、野口研技協プロジェクト実施協議チーム（団長 JICA 長谷川医療協力課長）とほぼ同時期に派遣できたことにより、現地でガーナ側との本第三国研修実施についての協議も合同で行なうことができた。特に、技術的分野において、来年3月に実施予定の第三国研修での派遣される講師数については、第1次事前調査チームが、すでにWHO、ガーナ野口研側と協議の上、WHO 2名、ガーナ野口研 2名、日本 2名ということで確認済みであるが、日本側から派遣される2名については、これまで野口研に係わった、又は、今後係わるJICA専門家経験者の中から派遣されることが、実施協議チーム井上団員のアドバイスもあり、今般の第2次事前調査チーム派遣中に、ガーナ野口研国内支援委員会関係者同席の場で明確にされた。

他方、野口研の技協プロジェクト派遣専門家が本第三国研修ポリオ・ワークショップの講師となることは、必ずしも考えられないが、これまでに蓄積されたプロ技協での技術移転の成果及び新規プロジェクトにおいて今後期待される技術移転の成果をもとにして、技協プロジェクト派遣専門家と同プロジェクト国内委員会の協力と支援を受けることは、可能であることが明白となった。

以上のことについて、野口研ガーナ側も含めて、現地プロジェクト・サイトにて確認し、かつ調整することができたことについては、本第2次事前調査チーム派遣の大きな成果であった。

(2) 平成3年度実施の割当国及びそれぞれの割当国からの参加人数

割当国とその員数については、下記のとおりジュネーブWHO EPIより提案がなされた。

記

ガーナ 3名、ナイジェリア 3名、エチオピア 1名、ウガンダ 1名

ケニア 1名、タンザニア 1名、ザンビア 2名、ジンバブエ 1名

上記原案は、コンゴ国のブラザ・ビルのWHO AFRO事務所からのものであるが、ジュネーブWHO EPIによれば、アフリカ地域で行なわれるプロジェクトの実施については、極力AFROの判断を尊重するということであり、野口研の第三国研修実施態勢を考慮すれば、割当国の選定については、WHOの意向を尊重しつつ、野口研とも協議の上、進めていくのが、

効率的かつ現実的であると思われた。

第2次事前調査チームとしては、上記WHO案については、最終的には、ガーナ側関係者及び日本側と打合わせた上で、決定されるのが適当との判断より、上記WHO案をもって、野口研、WHOガーナ事務所と協議したところ、双方とも、WHO案で特に問題ない旨の意見が出された。又、JICAガーナ事務所に対しても、以上の事柄について報告したところ、同事務所により、割当国のほとんどの、JICA事務所が設置されていること、また、ガーナで初めての実施であることから判断して、適当な選択である旨の意見があった。

(3) 本第三国研修実施経費

初めに、第2次事前調査チームよりガーナ側に対して、日当、宿泊費、講師料の一時間当たりの単価等について、日本側の基本的考え方を説明した。次に、既に第1次事前調査チームと大筋で合意を得ている上記項目単価について、特に、日当宿泊費は、他地域で実施している第三国研修と比較してかなりの高額であること、アクラ市内に、より廉価でかつ適当な宿泊設備が皆無ではないこと等を指摘したところ、ガーナ側より、先般の第1次事前調査時に設定した額、121US\$は、WHO基準であり、前回(WHOのみの支援で行なわれたポリオ・ワークショップ)も、WHOより同額支給された経緯もあり、右金額を支出して欲しい旨、要請があった。双方(日本側は、平沢JICAガーナ事務所長、野口研プロジェクト江口調整員、井上実施協議チーム団員、ガーナ側は、野口研エンクルマ所長、同エンチャール事務長がそれぞれ同席)で、アクラ市内の現状を考慮しつつ、より現実的な金額を模索したところ、日当30US\$/1日、宿泊費60US\$/1泊で合意をみた。合わせて、講師料については、第2次事前調査チームより、時間単価20US\$、講義時間は、1人1日7時間を上限とする旨提案したところ、ガーナ側より特に異存ない旨の回答があった。

(4) 先般WHOの支援により実施されたポリオ・ワークショップ(1991年4月22日から5月3日まで)の実施態勢

先般のポリオ・ワークショップについては、ほぼ全面的にWHOの支援を受けて実施されたが、特に、基本的実施計画作成とヨーロッパからの講師の派遣は、WHOジュネーブが担当し、割当国及びその人数の決定及びガーナ以外の参加研修員の航空券の手配を含めた直接コース実施に係る予算の支出は、WHO AFROが担当し(予算は、WHOジュネーブからWHO AFROに送金されている)、WHOガーナ事務所が、ガーナにおけるロジスティックな事務を、野口研スタッフと共同して担当したが明らかになった。特に航空券のアレンジについては、WHO AFRO(在コンゴ、ブラザビル)が、アフリカ地域のWHOネットワークをフルに駆使して行なっていたことが判明した。

(5) JICAガーナ事務所及び在アクラ日本大使館に対する説明

本件第三国研修については、ガーナ国で初めて実施されること、及びR/D署名者は、日本

例は、ガーナ事務所長を予定していること等から、在アクラ日本大使館の協力と支援を依頼すると共に、ガーナ事務所に対して、実施にむけての段取り等、実施要領の詳細について、第2次事前調査チームより説明を行なった。その際、ガーナ事務所、日本大使館より、アフリカの通信事情等に鑑み、航空券の送付について、ガーナを中心として、行なうことは、避けた方がよい旨の示唆がなされた。右について、念のためガーナ側（野口研関係者及びWHOガーナ事務所）に確認したところ、同様の感触を得た。

(6) WHOジュネーブとの協議

今回の第2次事前調査チームは、ガーナ出張の往路及び帰途WHO本部EPIに立ち寄り、今後の本件第三国研修実施について、打合せを行なったが、内容は以下のとおりである。

a ; 第1回目協議

9月24日、25日と第2次事前調査チームは、WHOジュネーブ本部と協議を行った際、当初第三国研修を予定していた期間（第1次事前調査チームが既にガーナ側と合意をみている1992年3月9日から25日までの期間）内の3月9日から13日までの間、WHOポリオ世界全体会議（Polio Technical Consultation）が急拠ジュネーブにて開催されることとなり、右期間内ではWHOによる協力が、事実上不可能となったことが判明した。そのため、第2次事前調査チームは、WHOと協議の結果、とりあえず2週間延期する（3月23日から4月8日まで）ことで了解を得た。第2次事前調査チームは、右結果をもって、ガーナ野口研及びWHOガーナ事務所に打診したところ、双方とも、内容に大幅な変更がなく、更に日本側もWHOジュネーブ本部も同意するならば問題ない旨、回答があった。

b ; 第2回目協議

10月2日、第2次事前調査チームは、WHOジュネーブに対して、ガーナでの調査結果を報告するとともに、今後、本第三国研修実施について、WHO側が担当する部分に関する経費の支出について、WHO EPI会計担当官（Mr. James Cheyne）に確認を行なった。

（在ジュネーブ国際機関日本政府代表部 尾形一等書記官及びWHO EPI小早川隆敏職員同席）その結果、WHO担当の経費支出について明確にするためには、今後本第三国研修を行なう上での日本側負担とWHO側負担の仕分けをロジスティック業務も含めて、明確にする必要があることが確認された。WHOとしてはWHO負担分について、文書で明確にする用意はある由であるので、第2次事前調査チームの帰国後、本邦でさらに本第三国研修の全体実施態勢について、関係者と打合せその結果をWHOに連絡することとなった。

2.1 所感

野口研の研修実施能力については、第1次事前調査チームも指摘しているように、技術的には設備、人材面とも申し分なく、内容的に見てもアフリカ地域において最も優れた研究所であるこ

とは、間違いないところであると思われるが、効率的かつ効果的な第三国研修を実施するためには、相当部分で、WHOの支援が必要となってくると思われた。

特に、本第三国研修の開始前の準備段階では、ガーナ野口研、WHO、日本側関係者の間で、密接な連絡が必要であると思われる。さらに付言するならば、WHOの中には、本部、地域事務所（WHO AFRO）、WHOガーナ事務所があり、当方は、アフリカ地域におけるJICA事務所があることから、アフリカ地域の通信事情等から、アフリカ地域レベルでの各関係機関の連携又は、JICA本部、とWHO本部との連携等が、本件第三国研修を成功に導く、重要な留意点になるものとおもわれる。

付 属 資 料

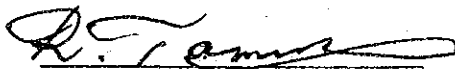
1. 第1次事前調査団署名のMinutes of Meetingの写
2. ガーナ事務所長署名のRecord of Discussions の
写し
3. WHO EPI会計担当官及び研修第三課長との
間の書簡の写し
4. 本第三国研修General Information

1. 第1次事前調査団署名のMinutes of Meetingの写

MINUTES OF THE MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE REPUBLIC OF GHANA
ON THE THIRD-COUNTRY TRAINING PROGRAMME

1. The Japanese preliminary survey team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Ryosaku TAMURA, visited the Republic of Ghana from July 20 to 25, 1991 in order to discuss with the authorities concerned of the Republic of Ghana a course for African trainees in the field of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures, to be implemented in the Republic of Ghana under JICA's Third-Country Training Programme.
2. The team has conducted surveys, held a series of meetings and exchanged opinions with the authorities concerned of the Republic of Ghana regarding the course.
3. Both sides came to share the view that the course will contribute to the development of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures in African countries.
4. Both sides drafted the Record of Discussions attached as APPENDIX I, and agreed to recommend to their respective Governments that further studies should be made for elaborating it in order to ensure the successful implementation of the course.
5. A list of the attendants at the meetings is attached as APPENDIX II.

Accra, July 23rd, 1991



Ryosaku TAMURA,
Head of the Japanese
Preliminary Survey Team, Japan
International Cooperation Agency.



Professor F. K. Nkrumah,
Director,
Noguchi Memorial Institute
for Medical Research,
University of Ghana.

(DRAFT)

RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF JICA GHANA OFFICE AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
GHANA ON THE THIRD-COUNTRY TRAINING PROGRAMME

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Ryosaku TAMURA, had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Republic of Ghana from July 20 to 25, 1991, covering the framework of the training course in the field of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures under JICA's Third-Country Training Programme and desirable measures to be taken by the authorities concerned of both Governments to ensure the successful implementation of the course. Based on the above discussions, the Resident Representative of JICA, Ghana Office, and the authorities concerned of the Republic of Ghana agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Resident Representative
Japan International
Cooperation Agency,
Ghana Office

Vice Chancellor,
University of Ghana.

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Republic of Ghana will cooperate with each other in organizing a training course in the field of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures at the Noguchi Memorial Institute for Medical Research (hereinafter referred to as "the Course" and as "NMIMR" respectively) under JICA's Third-Country Training Programme.

The Government of the Republic of Ghana will conduct the Course supported by the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once each year from Japanese fiscal year 1991 to 1995, subject to annual consultations of both Governments.

The Course will be conducted in accordance with the following.

1. TITLE

The Course will be entitled "Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures".

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide the participants from African countries with an opportunity to upgrade relevant techniques and knowledge in the field of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures.

3. OBJECTIVE

At the end of the Course, the participants are expected;

- (1) To have gained the basic knowledge and the use of standard techniques and procedures in laboratories supporting Expanded Programme on Immunization(hereinafter referred to as "EPI"),
- (2) To have improved their knowledge and techniques on laboratory diagnosis of poliomyelitis and measles, and potency testing for polio, measles, and yellow fever vaccines, and
- (3) To support their country's Polio Eradication Initiative.

4. DURATION

The first Course will be held from March 9, 1992, to March 25, 1992.

5. CURRICULUM

The tentative curriculum of the first Course is attached as ANNEX I.

6. INVITED COUNTRIES

An appropriate number of governments out of the countries listed in Annex II, will be invited every year to apply for the Course by nominating their applicant(s).

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants from the invited countries shall not exceed ten(10) in total. And the number of participants from Ghana shall not exceed three(3).

8. QUALIFICATIONS OF APPLICANTS

Applicants for the Course are :

8-1 to be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure mentioned in 10-1 below,

8-2 to be university graduates, or to have the equivalent academic background,

8-3 to be presently working for a laboratory at the national level which functions in support of EPI either in vaccine production, quality control, potency testing or polio diagnosis,

8-4 to have practical experience of several years in the related fields,

8-5 to be under forty-five (45) years of age, as a rule,

8-6 to have a good command of spoken and written English, and

8-7 to be in good health, both physically and mentally, to complete the Course.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

Noguchi Memorial Institute for Medical Research, the University of Ghana.

10. PROCEDURE OF APPLICATION

10-1. A Government applying for the Course on behalf of its nominee(s) shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the Republic of Ghana not later

than sixty (60) days before the commencement of the Course.

10-2. The Government of Ghana will inform the applying Governments whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than thirty (30) days before the commencement of the Course.

11. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN
AND THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF GHANA

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country. The schedule of Course implementation for the first year is attached as ANNEX III.

11-1 The Government of the Republic of Ghana

11-1-1 Ministry of Finance and Economic Planning

- (1) Forward the General Information brochures (G.I.) to the Governments of the invited countries through diplomatic channels.
- (2) Receive application forms and forward them to the office of JICA in the Republic of Ghana.
- (3) Notify the results of selection to the respective Governments through diplomatic channels.

NOTE: Regardless of the above procedures, the Government of Ghana may seek assistance from JICA or WHO, if necessary.

11-1-2 Noguchi Memorial Institute for Medical Research

- 1) Formulate the curriculum based on ANNEX I.
- 2) Draft and print the G.I..
- 3) Assign an adequate number of its staff as lectures/instructors for the Course.
- 4) Provide its training facilities and equipment for the Course.
- 5) Select participants for the Course, and to submit the results of selection to the Ministry of Finance and Economic Planning and the office of JICA in Ghana (hereinafter referred to as "the JICA office").
- 6) Arrange accommodation for participants.
- 7) Arrange international air tickets for participants from the invited countries and to meet and see them off at the airport.
- 8) Arrange domestic study tour(s) to be included in the Course.
- 9) Take budgetary measures to bear the expenses necessary for conducting the Course excluding the expenses financed by the Government of Japan.
- 10) Issue certificates to the participants who successfully completed the Course at the end of Course.

- 11) Submit a Course Report and a statement of expenditures to the JICA Office within thirty (30) days after termination of the Course.
- 12) Coordinate any matter related to the Course.

11-2 The Government of Japan

- (1) In accordance with the normal procedures of its technical cooperation scheme, dispatch short-term expert(s), who will give advice to the Noguchi Memorial Institute for Medical Research and deliver lectures on subjects as mentioned in Annex I.
- (2) Bear the following expenses through JICA. (The tentative estimate of expenses for the first Course is attached as ANNEX IV)
 - a) Expenses relevant to participants from the invited countries, such as international economy-class flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums.
 - b) Expenses relevant to Noguchi Memorial Institute for Medical Research, such as honoraria for external lecturers, arrangement of meeting(s) and study tour(s), teaching aids, expendable supplies, copies and reprints and secretarial services.

NOTE: Assistance such as dispatch of instructors and provision of teaching materials, etc. will be additionally expected from World Health Organization (WHO) based upon the agreement in Japan-WHO Coordinating Committee.

12. PROCEDURE OF REMITTANCE AND EXPENDITURE

The remittance and expenditure of funds for expenses to be borne by JICA will be arranged in accordance with the following procedure:

- 12-1 NMIMR will open a bank account in the Republic of Ghana to receive funds remitted by JICA, and will inform the JICA Office of the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.
- 12-2 NMIMR will submit to the JICA Office a bill of estimate for the expenses to be borne by the Government of Japan not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.
- 12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed

amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above within thirty (30) days after receipt of the bill of estimate.

- 12-4 NMIMR will submit to JICA a statement of expenditures within thirty (30) days after termination of the Course.
- 12-5 In case any amount of the fund remitted by JICA remains unspent, NMIMR will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the instructions given by JICA. The fund allocated for the flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.
- 12-6 If requested by JICA, NMIMR will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to certify the expenditures stated in 12-4 above .

13. This Attached Document and the following Annexes attached hereto shall be deemed as part of the Record of Discussions:

Annex I :Tentative Curriculum of the Course (for Japanese FY 1991)

Annex II :List of Countries to be Invited.

Annex III :Schedule of Course Implementation (for Japanese FY 1991)

Annex IV :Tentative Estimate of Expenses to be Borne by the Government of Japan (for Japanese FY 1991)

ANNEX I

TENTATIVE CURRICULUM OF THE COURSE (FOR JAPANESE FY 1991)

Monday,

Opening Session.

Introduction of participants.

Tea break

Lecture : Regional overview on polio eradication. WHO/AFRO

Lunch

Lecture : Laboratory Safety.

Lecture : Maintenance, Quality Control and Cryopreservation of Cell Cultures

PRACTICE • CELL COUNTING

PRACTICE • PRETREATMENT OF FILTER DISKS

Tuesday,

Lecture : Introduction Measles Haemagglutination (HA) and HA-Inhibition (HI).

Tea break

PRACTICE • PRETREATMENT OF SERA

PRACTICE • PERFORMING HI-ASSAY.

PRACTICE • PERFORMING HA-ASSAY.

Lunch

PRACTICE • READING AND REPORTING RESULTS

Wednesday,

Lecture: Introduction Polio Serum Neutralization-Test.

Tea break

PRACTICE • POLIO SERUM NEUTRALIZATION ASSAY (MICRO)

Lunch

PRACTICE • CONTINUATION

Thursday,

PRACTICE • Adding Hep-2 cells to polio SN plates.

Introduction OPV-Potency testing (CPE).

Tea break

PRACTICE • TRIVALENT ORAL POLIO VACCINE POTENCY TESTING TCID₅₀ Micro

Lunch

PRACTICE • FIRST READING AND REPORTING POLIO SN ASSAY

Friday,

Lecture : Lecture on differences plaque-CPE Test.

Lecture : Introduction Yellow Fever Plaque Assay.

Tea break

PRACTICE • YELLOW FEVER VACCINE POTENCY TESTING (Plaque Assay)

Lunch

Lecture : Introduction Measles CPE-Test .

PRACTICE • MEASLES CPE-TEST (TCID₅₀)

PRACTICE • READING AND REPORTING RESULTS FIRST WEEK

PRACTICE • EVALUATION RESULTS OF THE FIRST WEEK

Monday ,

Lecture : Collection, transportation and registration of faecal specimens

Lecture : Preparation of faecal specimens and inoculation of cell cultures

Tea break

PRACTICE • PREPARATION OF SPECIMENS

Lunch

PRACTICE • INOCULATION OF CELL CULTURES WITH FAECAL SUSPENSION

Tuesday,

Film: The Polio Virus.

Lecture : The EPI Vaccines.

Tea break

Lecture : Isolation and identification from polio- and other enteroviruses from faeces.

Lunch

PRACTICE • ISOLATION AND IDENTIFICATION FROM POLIO- AND OTHER ENTEROVIRUSES FROM FAECES.

Wednesday ,

Lecture : The EPI-laboratory network

Tea break

Participants presentation

Lunch

Lecture : Optimization of test circumstances.

PRACTICE • EXAMINATION AND REGISTRATION OF PREVIOUS EXPERIMENTS.

Thursday ,

Lecture : Intratypic differentiation: State of the art at a reference laboratory.

Tea break

EPI-Documentary: Recognize the disease

Lecture : Preparing and testing antisera.

Lunch

FIELD VISIT : A Routine Immunization Session.

Friday ,

Lecture : Adverse reactions to vaccinations.

PRACTICE • EXAMINATION.

Monday,

Visit to EPI related infrastructure set-ups

Visit to the site of operational research regarding the seroconversion by the different number of OPV administration including birth dose.

Tuesday,

Country reports on the polio eradication activity by the participants

Discussion and comments

Wednesday,

Evaluation WHO-Manual

Closing ceremony

Distribution of test-panel and antisera

ANNEX II

LIST OF COUNTRIES TO BE INVITED

ALGERIA

BENIN

BURKINA FASO

CAPE VERDE

COTE D'IVOIRE

GAMBIA

GHANA

GUINEA

GUINEA BISSAU

LIBERIA

MALI

MARITANIA

NIGER

NIGERIA

SENEGAL

SIERRA LEONE

TOGO

BURUNDI

CAMEROUN

CENTRAL AFRICA

CONGO

ETHIOPIA

GABON

EQUATORIAL GUINEA

KENYA

UGANDA

RWANDA

ST HELEN

CHAD

ZAIRE

ANGOLA

BOTSWANA

COMOROS

LESOTHO

MADAGASCAR

MALAWI

MAURITIUS

MOZAMBIQUE

NAMIBIA

REUNION

SAO TOME AND PRINCIPE

SEYCHELLES

SWAZILAND

TANZANIA

ZAMBIA

ZIMBARWE

ANNEX III

SCHEDULE OF COURSE IMPLEMENTATION (FOR JAPANESE FY 1991)

MONTH	GHANIAN SIDE	JAPANESE SIDE
September 1991	1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G.I.	1. Signing of Record of Discussions
October 1991	1. Distribution of G.I. and Application Form 2. Submission of Form A-1	
November 1991		1. Recruitment of Expert(s)
December 1991	1. Submission of Bill of Estimate 2. Selection of the Participants	
January 1992	1. Selection of & Notification of Participants	1. Remittance of Expenses 2. Submission of Form B-1
March 1992	1. Implementation of the Course	1. Dispatch of Expert(s)
April 1992	1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report	

ANNEX IV

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE BY JICA
(FOR JAPANESE FY 1991)

ITEM OF EXPENSE	BREAKDOWN	AMOUNT(US\$)
I. Invitation Expenses		
1. Airfare (round trip)	@ \$750 for #10 persons	7,500.-
2. Per-diem	@ \$21 x #10 persons x 16 days	3,360.-
3. Accommodations	@ \$100 x #10 persons x 15 days	10,500.-
4. Medical insurance Premiums	@ \$100 x #10 persons	1,000.-
SUB TOTAL		22,360.-
II. Training Expenses		
1. Honoraria	@ \$80 x 270 H x 13 days	2,080.-
(1) Lecturers		
(2) Sight visits		
(3) Evaluations		
2. Employment Fees	@ \$600 x one months	600.-
(1) Secretary		
(2) Clerk		
(3) Technical training assistant		
3. Transportation	@ \$100 X 30 days	3,000.-
(1) Bus rental		
(2) Airport		
(3) External lectures		
(4) Study tour		
4. Material Procurement	@ \$200 X 12 persons	2,400.-
(1) Consumables		
(2) Teaching materials		
5. Handouts, etc	@ \$40 X 12 persons	480.-
6. GI printing		1,500.-
6. Meeting expenses		
Opening ceremony	@ \$25 X 50 persons	1,250.-
Closing ceremony	@ \$25 X 50 persons	1,250.-
Miscellaneous	@ \$ 5 X 20 persons x 13 days	1,300.-
SUB TOTAL		13,860.-
GRAND TOTAL		36,220.-

List of Participants

1. Ghanaian Side

(1) Ministry of Finance and Economic Planning

Mr. G. Cann Director, International Relations Division
Mr. M. Badoo International Relations Division

(2) Ministry of Health

Dr. M. Adibo Director of Medical Services

(3) Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana

Prof. F.K. Nkrumah, Director
Mr. J.B. Nxhoe, Administrative Secretary
Mr. J.A.M. Brandful, Principal Research Assistance, Virology

2. Japanese Side

(1) Preliminary Survey Team

Mr. Ryosaku Tamura, Team Leader
Mr. Yoshihisa Kondo, Team Member

(2) Noguchi Memorial Institute for Medical Research

Mr. Takashi Yoshi, JICA Expert
Dr. Hiroshi Hori, JICA Expert
Mr. Hideo Eguchi, JICA Coordinator

5. Observer

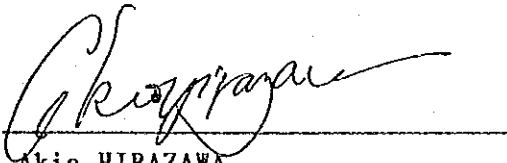
Dr. Takatoshi Kobayakwa, Medical Officer, EPI-Headquarter, WHO.

2. ガーナ事務所長署名のRecord of Discussions の
写し

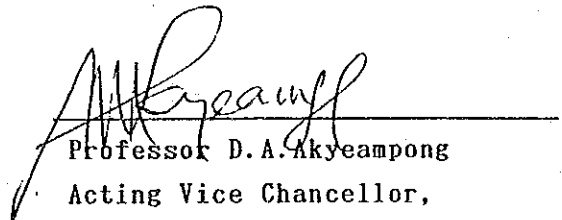
RECORD OF DISCUSSIONS BETWEEN
THE RESIDENT REPRESENTATIVE OF JICA GHANA OFFICE AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF
GHANA ON THE THIRD-COUNTRY TRAINING PROGRAMME

The Japanese Preliminary Survey Team, organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Ryosaku TAMURA, had a series of discussions with the authorities concerned of the Government of the Republic of Ghana from July 20 to 25, 1991, covering the framework of the training course in the field of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures under JICA's Third-Country Training Programme and desirable measures to be taken by the authorities concerned of both Governments to ensure the successful implementation of the course. Based on the above discussions, the Resident Representative of JICA, Ghana Office, and the authorities concerned of the Republic of Ghana agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the documents attached hereto.

Accra, November 11, 1991



Akio HIRAZAWA
Resident Representative
Japan International
Cooperation Agency,
Ghana Office



Professor D.A. Akyeampong
Acting Vice Chancellor,
University of Ghana.

ATTACHED DOCUMENT

The Government of Japan and the Government of the Republic of Ghana will cooperate with each other in organizing a training course in the field of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures at the Noguchi Memorial Institute for Medical Research (hereinafter referred to as "the Course" and as "NMIMR" respectively) under JICA's Third-Country Training Programme.

The Government of the Republic of Ghana will conduct the Course supported by the technical cooperation scheme of the Government of Japan. The Course will be held once each year from Japanese fiscal year 1991 to 1995, subject to annual consultations of both Governments.

The Course will be conducted in accordance with the following.

1. TITLE

The Course will be entitled "Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures".

2. PURPOSE

The purpose of the Course is to provide the participants from African countries with an opportunity to upgrade relevant techniques and knowledge in the field of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures.

3. OBJECTIVE

At the end of the Course, the participants are expected;

- (1) To have gained the basic knowledge and the use of standard techniques and procedures in laboratories supporting Expanded Programme on Immunization (hereinafter referred to as "EPI"),
- (2) To have improved their knowledge and techniques on laboratory diagnosis of poliomyelitis and measles, and potency testing for polio, measles, and yellow fever vaccines, and
- (3) To support their country's Polio Eradication Initiative.

4. DURATION

The first Course will be held from March 23, 1992, to April 8, 1992.

5. CURRICULUM

The tentative curriculum of the first Course is attached as ANNEX I.

6. INVITED COUNTRIES

An appropriate number of governments out of the countries listed in Annex II, will be invited every year to apply for the Course by nominating their applicant(s).

7. NUMBER OF PARTICIPANTS

The number of participants shall not exceed twelve (12) in total. And the number of participants from invited countries in total and from Ghana shall not exceed ten (10) and three (3) respectively.

8. QUALIFICATIONS OF APPLICANTS

Applicants for the Course are :

8-1 to be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure mentioned in 10-1 below,

8-2 to be university graduates, or to have the equivalent academic background,

8-3 to be presently working for a laboratory at the national level which functions in support of EPI either in vaccine production, quality control, potency testing or polio diagnosis,

8-4 to have practical experience of several years in the related field,

8-5 to be under forty-five (45) years of age, as a rule,

8-6 to have a good command of spoken and written English, and

8-7 to be in good health, both physically and mentally, to complete the Course.

9. FACILITIES AND INSTITUTIONS

Noguchi Memorial Institute for Medical Research, the University of Ghana.

10. PROCEDURE OF APPLICATION

10-1. A Government applying for the Course on behalf of its nominee(s) shall forward five (5) copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the Republic of Ghana not later than sixty (60) days before the commencement of the Course.

10-2. The Government of Ghana will inform the applying Governments whether or not the applicant(s) is/are accepted to the Course not later than thirty (30) days before the commencement of the Course.

11. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN
AND THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF GHANA

In organizing and implementing the Course, both Governments will take the following measures in accordance with the relevant laws and regulations in force in each country. The schedule of Course implementation for the first year is attached as ANNEX III.

11-1 The Government of the Republic of Ghana

11-1-1 Ministry of Finance and Economic Planning

- (1) Forward the General Information brochures (G.I.) to the Governments of the invited countries through diplomatic channels.
- (2) Receive application forms and forward them to the office of JICA in the Republic of Ghana.
- (3) Notify the results of selection to the respective Governments through diplomatic channels.

NOTE: Regardless of the above procedures, the Government of Ghana may seek assistance from JICA or WHO, if necessary.

11-1-2 Noguchi Memorial Institute for Medical Research

- 1) Formulate the curriculum based on ANNEX I.
- 2) Draft and print the G.I..
- 3) Assign an adequate number of its staff as lectures/instructors for the Course.
- 4) Provide its training facilities and equipment for the Course.
- 5) Select participants for the Course, and to submit the results of selection to the Ministry of Finance and Economic Planning and the office of JICA in Ghana (hereinafter referred to as "the JICA office").
- 6) Arrange accommodation for participants.
- 7) Arrange international air tickets for participants from the invited countries and to meet and see them off at the airport.
- 8) Arrange domestic study tour(s) to be included in the Course.
- 9) Take budgetary measures to bear the expenses necessary for conducting the Course excluding the expenses financed by the

Government of Japan.

- 10) Issue certificates to the participants who successfully completed the Course at the end of Course.
- 11) Submit a Course Report and a statement of expenditures to the JICA Office within thirty (30) days after termination of the Course.
- 12) Coordinate any matter related to the Course.

11-2 The Government of Japan

- (1) In accordance with the normal procedures of its technical cooperation scheme, dispatch short-term expert(s), who will give advice to the Noguchi Memorial Institute for Medical Research and deliver lectures on subjects as mentioned in Annex I.
- (2) Bear the following expenses through JICA. (The tentative estimate of expenses for the first Course is attached as ANNEX IV)
 - a) Expenses relevant to participants from the invited countries, such as international economy-class flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums.
 - b) Expenses relevant to Noguchi Memorial Institute for Medical Research, such as honoraria for external lecturers, arrangement of meeting(s) and study tour(s), teaching aids, expendable supplies, copies and reprints and secretarial services.

NOTE: Assistance such as dispatch of instructors and provision of teaching materials, etc. will be additionally expected from World Health Organization (WHO) based upon the agreement in Japan-WHO Coordinating Committee.

12. PROCEDURE OF REMITTANCE AND EXPENDITURE

The remittance and expenditure of funds for expenses to be borne by JICA will be arranged in accordance with the following procedure:

- 12-1 NMIMR will open a bank account in the Republic of Ghana to receive funds remitted by JICA, and will inform the JICA Office of the name of the bank, the account code number and the name of the account holder.
- 12-2 NMIMR will submit to the JICA Office a bill of estimate for the expenses to be borne by the Government of Japan not later than

sixty (60) days before the commencement of the Course.

12-3 JICA will assess the bill of estimate and remit the assessed amount of expenses to the account mentioned in 12-1 above within thirty (30) days after receipt of the bill of estimate.

12-4 NMIMR will submit to JICA a statement of expenditures within thirty (30) days after termination of the Course.

12-5 In case any amount of the fund remitted by JICA remains unspent, NMIMR will reimburse the unspent amount to JICA in accordance with the instructions given by JICA. The fund allocated for the flight fare, accommodation, per-diem and medical insurance premiums shall not be appropriated for any other purposes.

12-6 If requested by JICA, NMIMR will make available for JICA's reference all the receipts and other documentary evidence necessary to certify the expenditures stated in 12-4 above .

13. This Attached Document and the following Annexes attached hereto shall be deemed as part of the Record of Discussions:

Annex I :Tentative Curriculum of the Course (for Japanese FY 1991)

Annex II :List of Countries to be Invited.

Annex III :Schedule of Course Implementation (for Japanese FY 1991)

Annex IV :Tentative Estimate of Expenses to be Borne by the Government of Japan (for Japanese FY 1991)

JICA

AKS

ANNEX I

TENTATIVE CURRICULUM OF THE COURSE (FOR JAPANESE FY 1991)

Monday,

Opening Session.

Introduction of Participants

Tea break

Lecture : Regional Overview on polio eradication WHO/AFRO

LUNCH

Lecture : Laboratory Safety

Lecture : Maintenance, Quality Control and Cryopreservation of Cell Cultures

PRACTICE . CELL COUNTING

PRACTICE . PRETREATMENT OF FILTER DISKS

Tuesday,

Lecture : Introduction Measles Haemagglutination (HA) and HA - Inhibition (HI)

Tea break

PRACTICE . PRETREATMENT OF SERA

PRACTICE . PERFORMING HI-ASSAY

PRACTICE . PERFORMING HA-ASSAY

Lunch

PRACTICE . READING AND REPORTING RESULTS

Wednesday,

Lecture : Introduction Polio Serum Neutralization-Test.

Tea break

PRACTICE . POLIO SERUM NEUTRALIZATION ASSAY (MICRO)

Lunch

PRACTICE . CONTINUATION

Thursday,

Lecture : The EPI Vaccines

PRACTICE . Adding Hep-2 cells to polio SN plates.

Introduction OPV-Potency testing (CPE)

Tea break

PRACTICE . TRIVALENT ORAL POLIO VACCINE POTENCY TESTING TCID₅₀
Micro

Lunch

PRACTICE . FIRST READING AND REPORTING POLIO SN ASSAY

Friday,

Lecture : Lecture on difference plaque-CPE Test.

Lecture : Introduction Yellow Fever Plaque Assay.

Tea break

PRACTICE . YELLOW FEVER VACCINE POTENCY TESTING (Plaque Assay).

Lunch

Lecture : Introduction Measles CPE-Test

PRACTICE . MEASLES CPE-TEST (TCID₅₀)

PRACTICE . READING AND REPRINTING RESULTS FIRST WEEK

PRACTICE . EVALUATION RESULTS OF THE FIRST WEEK

Monday,

Lecture : Collection, transportation and registration of facial specimens

Lecture : Preparation of facial specimens and inoculation of cell cultures

Tea break

PRACTICE . PREPARATION OF SPECIMENS

Lunch

PRACTICE . INOCULATION OF CELL CULTURES WITH FAECAL SUSPENSION

Tuesday,

F i l m : The Polio Virus

Tea break

Lecture : Isolation and identification from polio-and other enteroviruses from faces.

Lunch

PRACTICE . ISOLATION AND IDENTIFICATION FROM POLIO-AND OTHER ENTEROVIRUSES FROM FACES.

Wednesday,

Lecture : The EPI - laboratory network

Tea break

Participants presentation .

Lunch

Lecture : Optimization of test circumstance.

PRACTICE . EXAMINATION AND REGISTRATION OF PREVIOUS EXPERIMENTS.

Thursday,

Lecture : Intratypic differentiation : State of the art at a reference laboratory.

Tea break

EPI-Documentary : Recognize the disease

Lecture : Preparing and testing antisera.

Lunch

FIELD VISIT : A Routine Immunization Session.

Friday,

Lecture : Adverse reactions to vaccinations.

PRACTICE . EXAMINATION

Monday

Visit to EPI related infrastructure set-ups

Visit to the site of operational research regarding the seroconversion by the different number of OPV administration including birth dose.

Tuesday,

Country reports on the polio eradication activity by the participants

Discussion and comments

Wednesday,

Evaluation WHO-Manual

Closing ceremony

Distribution of test-panel and antisera

BB

DAA

ANNEX II

LIST OF COUNTRIES TO BE INVITED

ALGERIA	BURUNDI	ANGOLA
BENIN	CAMEROUN	BOTSWANA
BURKINA FASO	CENTRAL AFRICA	COMOROS
CAPE VERDE	CONGO	LESOTHO
COTE D'IVOIRE	ETHIOPIA	MADAGASCAR
GAMBIA	GABON	MALAWI
GHANA	EQUATORIAL GUINEA	MAURITIUS
GUINEA	KENYA	MOZAMBIQUE
GUINEA BISSAU	UGANDA	NAMIBIA
LIBERIA	RWANDA	SAO TOME AND PRINCIPE
MALI	CHAD	SEYCHELLES
MAURITANTA	ZAIRE	SWAZILAND
NIGER		TANZANIA
NIGERIA		ZAMBIA
SENEGAL		ZAMBABWE
SIERRA LEONE		
TOGO		

DAA

ANNEX III

SCHEDULE OF COURSE IMPLEMENTATION (FOR JAPANESE FY 1991)

MONTH	GHANAIAN SIDE	JAPANESE SIDE
October 1991	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions 2. Preparation of G. I. 3. Distribution of G. I. and Application Form 4. Submission of Form A-1 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Signing of Record of Discussions
November 1991		<ol style="list-style-type: none"> 1. Recruitment of Expert (s)
December 1991	<ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of bill of Estimate 2. Selection of the Participants 	
January 1992	<ol style="list-style-type: none"> 1. Selection of & Notification of Participants 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Remittance of Expenses 2. Submission of Form B-1
March 1992	<ol style="list-style-type: none"> 1. Implementation of the course 	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dispatch of Expert (s)
April 1992	<ol style="list-style-type: none"> 1. Submission of Statement of Expenditures 2. Submission of Course Report 	

Att

DAA

ANNEX IV

TENTATIVE ESTIMATE OF EXPENSES TO BE BORNE BY THE GOVERNMENT OF JAPAN
(FOR JAPANESE FY 1991)

ITEM OF EXPENSE	BREAKDOWN	AMOUNT (US\$)
I. Invitation Expenses		
1. Per-diem	@ \$ 30 x #10persons x 25 days	7,500.-
2. Accommodations	@ \$ 60 x #10persons x 25 days	15,000.-
3. Medical insurance Premiums	@ \$100 x #10persons	1,000.-
SUB TOTAL		23,500.-
II. Training Expenses		
1. Honoraria		1,920.-
(1) Lecturers	@ \$ 20 x 7H x 13 days	1,820
(2) Sight visits	@ \$ 50/day x 2 days	100
2. Employment Fees		350.-
(1) Secretary	@ \$100 x 1 month x 1 person	100
(2) Clerk	@ \$100 x 1 month x 1 person	100
(3) Technical training assistant	@ \$ 50 x 1 month x 3 persons	150
3. Transportation		3,700.-
(1) Bus rental	@ \$120 x 30 days	3,600
(2) External lectures	@ \$ 10 x 5 days x 2 times	100
4. Material Procurement		2,400.-
(1) Consumables	@ \$100 x 12 persons	1,200
(2) Teaching materials	@ \$100 x 12 persons	1,200
5. Hand outs, etc	@ \$ 50 x 12 persons	600.-
6. Others		1,300.-
	Certificate	100
	G.I. printing	200
	Communication	1,000
7. Meeting expenses		2,500.-
Opening ceremony	@ \$ 25 x 50 person	1,250
Closing ceremony	@ \$ 25 x 50 person	1,250
SUB TOTAL		12,770.-
GRAND TOTAL		36,270.-

3. WHO EPI 会計担当官及び研修第三課長との
間の書簡の写し

To: Mr. James Cheyne
Expanded Programme on Immunization
World Health Organization

From: Shozo Matsuura
Director, Third Training Division, JICA
JICA Head Office

Date: 29th October, 1991

SUBJECT: Training Course in Vaccine Potency Testing and Polio
diagnostic Procedures at NOGUCHI MEMORIAL INSTITUTE
FOR MEDICAL RESEARCH (NMIMR) IN GHANA

Re: Former Meeting at WHO in Geneva 2nd October, 1991

I am pleased to inform you that the Record of Discussions concerning Training Course in Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures at NOGUCHI MEMORIAL INSTITUTE FOR MEDICAL RESEARCH (NMIMR) IN GHANA (hereinafter referred to as "Training Course"), will be signed between JICA and Ghanaian side in Accra November, 1991. And the first course will be held in March, 1992 in Accra for two weeks on the basis of the Record of Discussions.

The training course will be basically implemented on bilateral basis, however, JICA was instructed to cooperate with WHO in line with agreement of annual consultation between WHO and Japanese government held on 23-24, April, 1990 in Geneva, and WHO contribution to the course is understood to be indispensable by the Ghana, JICA and WHO officers in the discussion on formulation of the course.

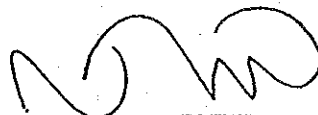
According to reports from T. Yoshida, JICA staff, who attended the meeting with you on 2nd October, 1991, WHO are prepared to bear the following expenses for five years 1992 - 1996.

- (1) Dispatch of two instructors/facilitators for "Training Course"
- (2) Provision of teaching materials for "Training Course"
- (3) Provision of reagent and materials which we cannot provide in Ghana
- (4) Payment of per-diem and accommodation for Ghanaian "Training Course" participants

We would like to ask you to take your necessary actions and it would be highly appreciated if you kindly confirm us for your cooperation in writing.

Awaiting your reply, best regards.

cc: Dr. Takatoshi Kobayakawa EPI/WHO

A handwritten signature in black ink, consisting of several loops and curves, positioned above a horizontal line.

Shozo Matsuura

FACSIMILE



WORLD HEALTH ORGANIZATION
CH - 1211 GENEVA 27
SWITZERLAND

TELEGRAMS: UNISANTE GENEVA
TELEPHONE: 791 21 11
TELEX: 415416
FACSIMILE: 7910746

EPI DIRECT FAX: 788 20 71

Message No. Page 1 of 1 pages Date: 9 December 1991

From: J. Cheyne, EPI To: Mr Matsuura, Training Affairs Dept., JICA,
Tokyo, Japan

Fax No: 33465019

Our ref: I8/372/2 JAP, I8/133/3

Dear Mr Matsuura,

Thank you for your fax of 29 October 1991, concerning the JICA support for the training course in vaccine potency testing at the Noguchi Memorial Institute, Ghana.

I confirm that your understanding of WHO's contribution is correct. WHO will support, for the period 1992-1996 the following:

1. Despatch of two instructors/facilitators for the training course.
2. Provision of training materials for the training course.
3. Provide those reference reagents required for the testing which are provided from the Specialised Reference Laboratories. Please note that JICA will order other reagents and supplies required for the course which are not already available at the Noguchi Institute.
4. WHO will provide honoraria for selected facilitators from the Noguchi Institute. Please note that it is not WHO policy to provide per diems for local facilitators.

Thank you for your participation in this training. I hope this will become part of a greater collaboration between JICA and WHO.

Yours sincerely,

A handwritten signature in dark ink, appearing to read 'James Cheyne', written in a cursive style.

James Cheyne
Expanded Programme on
Immunization

4. 本第三国研修General Information

NOGUCHI MEMORIAL INSTITUTE
FOR
MEDICAL RESEARCH (NMIMR)
UNIVERSITY OF GHANA

TRAINING COURSE
IN
VACCINE POTENCY TESTING
AND
POLIO DIAGNOSTIC PROCEDURES
IN
COOPERATION WITH JICA AND WHO

FROM MARCH 23RD TO APRIL 8TH 1992

<u>Contents</u>	<u>Page</u>
General information ...	1 - 7
Course Instructions	
Application form	

A. Information on the Training Course:

A.1. Rationale:

In 1989, the Noguchi Memorial Institute for Medical Research was nominated by the World Health Organization (W.H.O) as a potential collaborating laboratory in support of E.P.I. The facilities of the Institute and the prospects for polio eradication in Ghana were assessed.

For the purpose of polio eradication, it is very important to train and to have qualified laboratory workers, who are able to manage techniques in the field of the vaccine potency testing and polio diagnostic procedures in each African country.

A.2. Aims:

The purpose of the Course is to provide the participants from African countries with an opportunity to upgrade relevant techniques and knowledge in the field of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures.

A.3. Objectives:

At the end of the Course, the participants are expected;

- (1) To have gained the basic knowledge and the use of standard techniques and procedures in laboratories supporting Expanded Programme on Immunization (hereinafter referred to as "EPI"),

- (2) To have improved their knowledge and techniques on laboratory diagnosis of poliomyelitis and measles, and potency testing for polio, measles, and yellow fever vaccines, and
- (3) To support their country's Polio Eradication Initiative.
- A.4. Duration:
March, 23rd to April 8th, 1992
- A.5. Training Institute:
 - 1. Noguchi Memorial Institute for Medical Research, the University of Ghana.
- A.6. Curriculum:
The tentative curriculum of the Course is attached as ANNEX I.
- A.7. Methodology:
The course will be conducted in the form of lectures, practical training in vaccine potency testing and polio diagnostic procedures.
- A.8. Language:
The course will be conducted in English.
- A.9. Certificate:
Participants who have successfully completed the course will be awarded a certificate.

B. Information on Application:

B.1 Qualification of Applicants:

Applicants for the Course are:

1. to be nominated by their respective Governments in accordance with the procedure mentioned in B.2 below,
2. to be university graduates, or to have the equivalent academic background,
3. to be presently working for a laboratory at the national level which functions in support of EPI either in vaccine production, quality control, potency testing or polio diagnosis,
4. to have practical experience of several years in the related fields,
5. to be under forty-five (45) years of age, as a rule,
6. to have a good command of spoken and written English, and
7. to be in good health, both physically and mentally, to complete the course.

B.2. Procedures for Application:

1. A government desiring to nominate applicant(s) for the course should fill in and forward two copies of nomination form for each applicant to the International Economic Relation Division, Ministry of Finance P. O. Box M.40 Accra and one copy to

The Director, NMIMR University of Ghana, P. O. Box 25, Legon, Ghana not later than January 15, 1992.

It is suggested that WHO-country office is informed of the nomination(s).

2. The Government of Ghana in conjunction with NMIMR will inform the applying Government whether or not the nominee's application has been accepted not later than February 15, 1992.

B.3. Country Report:

Participants are requested to prepare a report on the present situation in their own field of study and interest in their respective country. This country report should be typewritten in accordance with the attached form (ANNEX II) and submitted to NMIMR on their arrival in Ghana.

The country reports are to be used during training course.

C. Allowance and Expenses:

The following expenses in accordance with JICA and NMIMR rules and regulations will be covered for each participant:

1. Return air-ticket (normal economy fare) between the international airport designated by Accra.
2. Free accommodation in addition to an allowance of 30 US \$ per day for meals and pocket money.

3. Medical insurance premium.

4. Expenses for study tours.

D. Regulations:

Participants are required:

1. To observe strictly the course schedule and not to change training subject.
2. Not to extend the training period.
3. Not to bring any member of their family.
4. To return to their home country on completion of the course according to the trip schedule designated by NMIMR.
5. To carry out such instructions and abide by such conditions as may be stipulated by both the nominating government and the Ghana Government in respect of the training.
6. To observe the rules and regulations of the training institution or establishment in which participants undertake study or training.
7. To refrain from engaging in political activities, or any form of employment for profit or gain.
8. To discontinue the course, should they fall seriously ill and be considered unable to continue the training or commit an improper act.

E. Others:

1. Preliminary Instruction:

Participants are requested to report in person to the local JICA office or WHO country office in their own country in order to complete the necessary procedures and obtain pre-departure instructions.

2. Visa:

Before leaving their country, participants should obtain a visa for entry to Ghana which will be issued by the diplomatic missions of Ghana in their own country.

3. Air-Ticket:

Participants are requested to arrive in and leave Ghana on the date designated by NMIMR. The date will be finally confirmed by the air-ticket sent to the participants. The participants who receive the air-ticket but are unable to travel are obliged to return the ticket or refund its value to NMIMR.

4. Photograph:

For administration purposes, participants are requested to bring five (5) copies of a recent photograph (passport size).

5. Airport:

On arrival at Accra International Airport, participants are requested to note the following arrival procedures.

1. When immigration and customs clearance procedures have been completed, participants should proceed to the exit and look for NMIMR staff who will page participant's name and country.
2. NMIMR staff will guide participants to their hotels.

6. Correspondence:

For inquiries and further information please contact local JICA office or WHO country office
In case of difficulty, address correspondence to:

Director
N.M.I.M.R.
University of Ghana
P. O. Box 25
Legon.
Ghana.

Tel: 775374

Telex: 2556 UGL GH

TENTATIVE CURRICULUM OF THE COURSE

March 22, 1992 Sunday, Arrival at Ghana

March 23, Monday,

Opening Session.

Introduction of Participants.

Tea break.

Lecture: Regional overview on polio eradication WHO/AFRO.

Lecture: Laboratory Safety.

Lecture: Maintenance, Quality Control and Cryopreservation of Cell Cultures.

PRACTICE . CELL COUNTING

PRACTICE . PRETREATMENT OF FILTER DISKS

March 24, Tuesday,

Lecture: Introduction Measles

Haemagglutination (HA) and HA-Inhibition (HI)

Tea break

PRACTICE . PRETREATMENT OF SERA

PRACTICE . PERFORMING HI-ASSAY

PRACTICE . PERFORMING HA-ASSAY

Lunch

PRACTICE . READING AND REPORTING RESULTS

Lunch

Lecture: Introduction Measles CPE-Test.

PRACTICE . MEASLES CPE-TEST (TCID₅)

PRACTICE . READING AND REPORTING

RESULTS FIRST WEEK.

PRACTICE . EVALUATION RESULTS OF THE
FIRST WEEK.

March 30, Monday,

Lecture: Collection, transportation
and registration of faecal
specimens.

Lecture: Preparation of faecal specimens
and inoculation of cell
cultures.

Tea break

PRACTICE . PREPARATION OF SPECIMENS

Lunch

PRACTICE . INOCULATION OF CELL CULTURES
WITH FAECAL SUSPENSION.

March 31, Tuesday,

Film : The Polio Virus.

Lecture: The EPI Vaccines.

Tea break

Lecture: Isolation and identification
from polio and other oviruses
from faces.

Lunch

Lecture: Introduction Measles CPE-Test.

PRACTICE . MEASLES CPE-TEST (TCID₅)

PRACTICE . READING AND REPORTING

RESULTS FIRST WEEK.

PRACTICE . EVALUATION RESULTS OF THE
FIRST WEEK.

March 30, Monday,

Lecture: Collection, transportation
and registration of faecal
specimens.

Lecture: Preparation of faecal specimens
and inoculation of cell
cultures.

Tea break

PRACTICE . PREPARATION OF SPECIMENS

Lunch

PRACTICE . INOCULATION OF CELL CULTURES
WITH FAECAL SUSPENSION.

March 31, Tuesday,

Film : The Polio Virus.

Lecture: The EPI Vaccines.

Tea break

Lecture: Isolation and identification
from polio and other oviruses
from faces.

Lunch

**PRACTICE . ISOLATION AND IDENTIFICATION
FROM POLIO AND OTHER
ENTEROVIRUSES FROM FACES.**

April 1, Wednesday,

Lecture: The EPI-laboratory network

Tea break

Participants presentation

Lunch

Lecture: Optimization of test
circumstances.

**PRACTICE . EXAMINATION AND REGISTRATION
OF PREVIOUS EXPERIMENTS.**

April 2, Thursday,

Lecture: Intratypic differentiation : State of
the art at a reference laboratory.

Tea break

EPI-Documentary: Recognize the disease

Lecture: Preparing and testing antisera.

Lunch

FIELD VISIT: A Routine Immunization Session.

April 3, Friday,

Lecture: Adverse reactions to vaccinations.

PRACTICE. EXAMINATION.

April 6, Monday,

Field visits to EPI related infrastructure
set-ups in Ghana.

April 7, Tuesday,

Country reports on the polio eradication
activity by the participants
Discussion and Comments

April 8, Wednesday,

Evaluation WHO-Mannual
Closing ceremony
Distribution of test-panel and antisera.

April 9, Thursday,

Departure for each home country.

COUNTRY REPORT
ON
VACCINE POTENCY TESTING
AND
POLIO DIAGNOSTIC PROCEDURES

1. Name of Country:.....
2. Name of participant:.....
3. Name of Organization:.....
4. Organisation Chart.
 - A. Present situation of Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures:
 - B. Services of the organisation.
 - C. Your present position indicated in the organisation chart.
 - D. Job in detail in the organisation.
 - E. The most interesting subjects in Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures.

NOGUCHI MEMORIAL INSTITUTE FOR MEDICAL RESEARCH (NMIMR)
UNIVERSITY OF GHANA
IN COOPERATION WITH JICA AND WHO

Training Course in Vaccine Potency Testing
and Polio Diagnostic Procedures
From 23rd March to 8th April 1992

Course Instructions & Application Form

Instructions

A Government applying for the course shall forward two copies of the prescribed application form for each nominee to the Government of the Republic of Ghana through its diplomatic channels (International Economic Relations Division, Ministry of Finance and Economic Planning, P. O. Box M.40 in Accra) not later than sixty days before the commencement of the course. A copy shall be forwarded directly to the Director, Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana, P. O. Box 25 Legon, Ghana.

The Government of the Republic of Ghana will inform the applying Government through its diplomatic channels whether or not the applicant/s is/are accepted to the course not later than thirty days before the commencement of the course.

WHO country office may assist on this.

The Government of _____

nominates _____

for a Course on

"Vaccine Potency Testing and Polio Diagnostic Procedures" from the 23rd of March, 1992 to the 8th of April 1992 at the Noguchi Memorial Institute for Medical Research (NMIMR), University of Ghana in cooperation with JICA and WHO.

and certifies that

- a. All information supplied by the nominee are complete and correct,

- b. Nominee is an university graduate, or has the equivalent academic background,
 - c. Nominee is presently working for a laboratory at the national level which functions in support of EPI either in vaccine production, quality control, potency testing or polio diagnosis,
 - d. Nominee has practical experience of several years in the related field,
 - e. Nominee is under forty-five (45) years of age,
 - f. Nominee has a good command of spoken and written English, and
 - g. Nominee is in good health, both physically and mentally, to complete the Course.
-

Name of Certifying Government
Official

Official Address

Place & Date

bdk*.

NOGUCHI MEMORIAL INSTITUTE FOR MEDICAL RESEARCH (NMIMR)
UNIVERSITY OF GHANA
IN COOPERATION WITH JICA AND WHO

Training Course in Vaccine Potency Testing
and Polio Diagnostic Procedures

Application Form

1.
First Name Middle Name Family Name

2. Place & Date of Birth:.....

3. Nationality:..... Sex: Male Female

4. Passport No:..... Place & Date of Issue:.....

5. Organization/Institute Name:.....
Office Address:.....

Tel:..... Telex:..... Fax:.....

6. Home Address:.....
.....Tel:.....

7. Present Position:.....

8. Duties & Responsibilities:.....
.....
.....
.....

9. English Language: Very Good Good Fair

../2.

10. Professional Experience: (This is a chronological record of your professional career. Start with your present position and work backward in time to your first professional job).

.....
.....
.....
.....
.....
.....

11. Education: (Start with last attended institution and work backwards):

.....
.....
.....
.....
.....

Signature of Applicant

Place and Date:

Signature of Responsible
Government Official

JICA